

6 手話推進支援員養成等事業

- ▶平成28年度事業費 24万円
- ▶問い合わせ 障がい福祉グループ
(☎053732)

手話への理解の促進と手話の普及、手話による交流の促進を図ることにより、手話を使用する市民が安心して暮らすことのできる地域社会を実現するため、地域での手話の普及を推進する『手話推進支援員』の養成を進めています。

平成28年度は、1月から3月にかけて、国の手話奉仕員養成カリキュラムに基づき、聴覚に障がいのある方とのコミュニケーション方法や基本的な手話などを学ぶ『手話推進支援員養成講座』を実施しています。



▲あいさつや自己紹介など、基本的な手話を学ぶ『手話推進支援員養成講座』

5 あいサポーター養成事業

- ▶平成28年度事業費 44万1,000円
- ▶問い合わせ 障がい福祉グループ
(☎053732)

『あいサポート運動』は、多様な障がいの特性や障がいのある方が困っていることなどを理解して、ちょっとした手助けや配慮を実践することにより、誰もが暮らしやすい地域社会をつくっていく運動です。

平成28年11月27日には、あいサポート運動を全国で最初に開始した鳥取県の平井伸治知事を招き、北海道の市町村では初めて、鳥取県と『あいサポート運動』の協定を締結しました。

協定締結を受け、登別市は研修会を開催し、『あいサポート運動』を実践する『あいサポーター』の養成に取り組んでいます。



▲平井知事(右)を招き、北海道の市町村として初めて『あいサポート運動』の協定を締結

7 高齢者などに対する緊急通報機器の貸与

- ▶平成28年度事業費 1,546万9,000円
- ▶問い合わせ 高齢・介護グループ
(☎055720)

一人暮らしの高齢者などが安心して日常生活を送ることができるよう、慢性疾患などにより常時注意が必要な高齢者などに緊急通報機器を貸与しています。

手助けが必要な場合などに緊急通報機器を利用して通報することにより、民生委員児童委員などの協力員への駆けつけ要請や救急車の出動要請ができるほか、月に1度の安否確認の連絡や健康に関する相談も行っています。

▶緊急通報機器の種類

固定型と携帯型の2種類あり、固定型は通報ボタンが大きく操作が簡単です。付属品として煙感知器やガス警報器などがついてくるため、火災などの未然防止に役立ちます。

携帯型は外出先でも利用が可能で、GPS機能により位置情報を検索することができるため、正確な場所を消防に伝えることができます。

- ▶平成28年度設置見込台数 固定型242台、携帯型117台



▲固定型の緊急通報機器(右は室内で持ち歩きできるペンダント型)



▲携帯型の緊急通報機器